

除雪グレーダ

(4 . 0 m 級、シャッターブレード付)

仕 様 書

令和7年度

五 所 川 原 市

除雪グレーダ仕様書
(4 . 0 m 級、シャッターブレード付)

概 要

この仕様書は、除雪グレーダ（4.0m級、シャッターブレード付）に適用するもので、納入機は下記に定める性能、諸元、各部構造その他を満足するほか、道路除雪作業の使用に耐え得る十分な耐久性、信頼性と良好な操縦性能を有するものとする。

納入機は、運輸省令昭和26年第67号（以降の改正分を含む）「道路運送車両の保安基準」に適合するものとする。なお、排出ガスの規制についても同保安基準によるものとする。

ここに明記されていない箇所については五所川原市（以下「発注者」という。）と物品供給人（以下「受注者」という。）が協議のうえ決定するものとする。

1	数 量	1 台
2	性 能	
(1)	除雪幅（推進角 60 度）	3.2m以上
(2)	最大除雪高（新雪時）	0.15m以上
(3)	ブレード線圧	20.4kN/m以上
(4)	最高速度	
	前 進	45km/h 以上
	後 進	35km/h 以上
(5)	最小旋回半径（最外側車輪中心）	7.8m以下
(6)	騒音レベル	
	「騒音障害防止のためのガイドライン」（厚生労働省令和5年4月20日基発0420第2号） 第Ⅰ管理区分に準ずる。（測定方法は JCMAS H011 の機械定置時による）	
3	主要諸元	
(1)	全 長	9,765mm 以下
(2)	全 幅	2,680mm 以下
(3)	全 高（黄色灯火上端まで）	3,710mm 以下
(4)	最低地上高（減速装置下面まで）	290mm 以上
(5)	車両総質量	19,661kg 以下
(6)	乗員定員	1 名
4	車 体	
(1)	機 関	
	形 式	水冷、ディーゼル機関
	定格出力	163kW 以上
(2)	車 軸	
	前 車 軸	2 輪 油圧リーニング機構又は逆エリオット式
	後 車 軸	4 輪 タンデム機構
(3)	軸フレーム	油圧屈折式
(4)	タイヤ	前輪 スノータイヤ 後輪 スノータイヤ
(5)	かじ取り装置	
	形 式	全油圧式

(6) 運 転 室	全鋼製密閉形	
構 造	前面、ドア左右	熱線入り合わせガラス
窓	後面	強化ガラス
ワイパー	前面、後面、ドア左右	冬用ワイパーブレード付

5 除雪装置

(1) 形 式	バンクカット機構 シャッターブレード、サークル、ドローバ 油圧式ブレードチップ、ブレードスリップクラッチ
(2) 作業動力装置	油圧式、操作弁式（7系統以上）
(3) 能 力	
サークル回転角度	左右各 130 度以上
ブレード昇降範囲	地下 250mm～地上 250mm 以上
ブレード横送り長さ	左送り 500mm 以上
切削角調整装置	油圧調整式
安全装置	ブレードに過大な負荷や衝撃が加わった場合、(スリップクラッチ等により) その力でサークルが自由に回転し、各部の損傷を防ぐ装置を有すること。
切刃形式	ストレート形平型刃先 (JIS D6101) 又は準じる特殊切刃 (側刃付)

6 計器類

(1) 運行記録計	1 式
(2) 燃料計	1 式
(3) アワーメータ	1 式
(4) 水温計	1 式
(5) 充電警告灯	1 式
(6) 機関油圧警告灯	1 式

7 照明装置類 (保安基準により装備を義務付けられるものの外)

(1) 前部作業灯	2 灯以上
(2) 黄色灯火 (散光式)	前 500mm 以上、後 1,100mm 以上 一式
(3) 前方作業灯	2 灯以上
(4) 後方作業灯	2 灯以上

8 付属装置及び付属品

8-1 車両総質量に含むもの

(1) バックブザー	1 式
(2) カーエアコン	1 式
(3) ワイパー	1 式
(4) ウィンドウォッシャー (電動式)	1 式
(5) 標識板 (300×575mm 程度、車体後部取付)	1 式
(6) 標識板 (「除雪作業中接近注意、車体後部取り付け」)	1 式
(7) ライト付左右後方カメラ&モニター (後方、左後方、右後方各 1 台)	1 式
(8) サイドミラー (熱線入り)	1 式
(9) 床マット	1 式

8-2 車両総質量に含まないもの

(1) 標準付属工具	1 式
(2) 取扱説明書	1 部
(3) 部品表	1 部
(4) 履歴簿	1 部
(5) 非常用信号具（発煙筒）	1 式
(6) ドライブレコーダー	1 式
(7) タイヤチェーン、床マット	1 式

9 塗 装

国土交通省建設機械塗装基準による。

10. 納入場所

五所川原市スノーステーション（五所川原市大字金山字竹崎2 1 1 番地1）

10 検 査

完成検査は、寸法、外観、溶接、その他組立状況を検査し、さらに車両や作業装置類の動作等の確認を行い全般的な機能を検査する。

ただし、車両総質量については、本仕様書で定めたとおりであるかを、その内訳が判る資料により検査する。

検査に要する器具、人員等は受注者において準備するものとする。

11 保 証

納入後1箇年以内に設計製作上の欠陥によるものとみなされる故障が発生した場合には、受注者は無償修理を行わなければならない。ただし、製作会社等が別に定めた保証期間が1箇年以上にわたる場合はそれを適用する。

特に重大な故障が発生したときは、上記期間経過後であっても、発注者と受注者が協議のうえ、受注者に無償修理を行わせることがある。

12 その他の事項

12-1 製造期日等の指定

納入機は新品でなければならない。

12-2 灯火の取付方法の指定

黄色灯火（以下「灯火等」という。）の取付方法は、次のとおりとする。

イ) 灯火等の規格、取付位置については、「道路維持作業用自動車及び道路管理用緊急自動車の取扱について（昭和55年6月5日付け、建設省機発第473号（以降の改正分を含む。））」に準じるものとする。

ロ) 灯火等は、運転室又は作業装置上部に堅固に取付け、灯火等の重量、振動に耐えるよう取付部分に必要な補強を行うものとする。

12-3 提出図書の言語の指定

取扱説明書など提出を義務づけられた図書に使用する言語は、日本語とする。

12-4 緩和申請等

本履行に当たり、車両登録、基準緩和の申請及び道路維持作業車の申請・届出については受注者が代行するものとする。また、これらにかかる費用は受注者の負担とする。

12-5 下取り車両の取扱い

下取り車両の「建設機械番号」「建設省補助除雪機械」又は「国土交通省補助除雪機械」「五所川原市」及び市章の表示は消去するものとする。但し、廃棄処分にする場合はこの限りでない。

除雪グレーダ特記仕様書
(4 . 0 m 級、シャッターブレード付)

仕様書によるほか、次の各号によるものとする。

- 1 車体の塗装は、2009 年度の日本塗装工業会塗料標準色の E17-70X とする。
- 2 バンパーを有する車種については、バンパーを塗装するものとする。なお、バンパーを有しない車種にあつては、これに準ずる箇所に塗色する。この場合、後部の赤色部分には反射塗料を使用するものとする。
- 3 作業装置の危険表示については、除雪装置の回転部分及びプラウ前面は赤色として、その他は赤白の縞塗料を施す。
- 4 市の指示する箇所に「五所川原市」と黒丸ゴシックで大きく記入するものとする。左右側面に白色帯を塗装するものとする。
- 5 建設機械管理番号を、車両運転席の両側面に、市の指示するそれぞれの位置に記入または金属板等にて取付けるものとする。建設機械管理番号は、「SR07-002」である。
- 6 「社会資本整備総合交付金事業」の表示を、車両の両側面に、市の指定するそれぞれの位置に金属板等にて取付けるものとする。
- 7 車体の後部に取り付ける標識板は、市の指示する位置に取付けるものとする。なお標識板は脱着できるものとする。
- 8 黄色灯火の取付位置は、前後方向からの視認性を十分考慮し、原則として運転室屋根中央部の車両中心線上に取付けるものとする。
- 9 車両は、「道路運送車両法の保安基準」で定める車体検査を受けた後納入するものとする。なお、「自動車損害賠償責任保険」は、別途支払うものとする。
- 10 建設機械履歴簿には、仕様書等の必要事項を記入または貼付し、車検証の写しや車両の前面、後面及び両側面からの写真、及び付属品の写真を所定の場所に貼付するものとする。また、写真データを CD 等で提出すること。
- 11 前各号で必要となる一切の経費は、受注者の負担とする。
- 12 仕様書に記載のない事項及び機械形状等により、文字位置・寸法及び表示箇所等の変更が必要な場合については、市担当者と協議の上で変更ができるものとする。